

盛岡 小さな博物館

ハンドブック



「盛岡小さな博物館」では
盛岡市内で生産された製品や
生産用具・資料等を
工房や店舗内に展示しております。
手づくりによる“盛岡ならではの”の
品々に触れてみませんか。
入館は無料。お気軽にどうぞ。

盛岡 小さな博物館

ガイドマップ



- ①小野染彩所【南部古代型染】……………4
- ②みちのくあかね会【ホームスパン】……………5
- ③五葉社【郷土玩具】……………6
- ④うるみ芸【浄法寺塗・秀衡塗】……………7
- ⑤藤原養蜂場【蜂蜜】……………8
- ⑥吉國履物店【南部桐下駄】……………9
- ⑦立花製靴店【製靴】……………10
- ⑧関口屋菓子舗【盛岡駄菓子】……………11
- ⑨松本伸弦楽器工房【ヴァイオリン製作】……………12
- ⑩山留貴金属店【彫金】……………13
- ⑪御菓子司 山善【和菓子】……………14
- ⑫巴染工【染物】……………15
- ⑬ガラス工房 glass k【吹きガラス】……………16
- ⑭工房 夢蘭*花【まゆクラフト】……………17

- ⑮ペアレ醸造所【地ビール】……………18
- ⑯石澤和羊毛鉤工房【和竿・毛鉤】……………19
- ⑰刀剣徹斎【刀剣研磨】……………20
- ⑱アトリエ北の花籠【プリザーブドフラワー】……………21
- ⑲岩手革【いわて短角牛レザー】……………22
- ⑳鈴木盛久工房【南部鉄器】……………23
- ㉑創作ジュエリー工房 SILVER ART ☆ KAORI【創作銀細工】……………24
- ㉒木炭博物館【木炭・木酢液】……………25
- ㉓オールドコーヒーの店 機屋【焙煎珈琲】……………26
- ㉔螺鈿 澤井工房【螺鈿細工】……………27
- ㉕馬っこ博物館【馬事文化】……………28
- 暮らしと伝統の物語 もりおか【アクセス】……………29
- 盛岡特産品販売店リスト……………30

1

小野染彩所

【南部古代型染】

店舗2階に、藩政時代からの古い型紙、型の復元パネル、藍染めの材料や資料が展示してあり、テープによる工程等の説明を聞くことができます。



南部古代型染は、寛永年間、南部家御用染師として京都から招いた蛭子屋三右衛門が、袴や鎧下、小袖などに型紙を使って家紋や文様を染めたことに始まります。代々受け継がれた型紙は300種類以上にもものぼります。

館長 小野 信太郎

開館時間 10:00~17:30

休館日 日曜・年末年始・他
(お問合せ下さい)

アクセス 夕顔瀬橋バス停前
盛岡駅から約1km
徒歩15分
タクシー5分

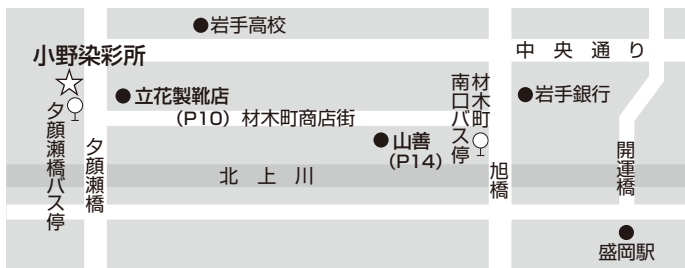


■お問い合わせ

〒020-0063 盛岡市材木町10-16
TEL.019-652-4116 FAX.019-652-4105

URL —

E-mail —

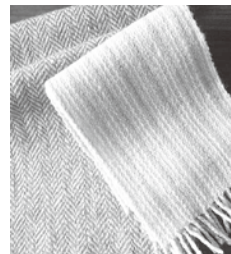


2

みちのくあかね会

【ホームSPAN】

染色から織りまですべて手作業で行うホームSPANの工程を見学することができ、一連の製作工程をパネルで紹介しています。



明治時代のはじめに、イギリス人宣教師が岩手に広めたホームSPANは、羊毛を染め、手紡ぎした糸で織る毛織物です。機械による大量生産が多いなか、『みちのくあかね会』は、毛を紡ぎ出した縦糸・横糸を一つ一つ手で織っていく本来の手作り品にこだわっています。

製作体験 1~2人 / 20~30分 (人数により異なります)

1,000円(税込)程度 ホームSPANの原料を使用した小品の制作(手織りでコースター)

館長 高橋 比奈子

開館時間 10:00~16:00

休館日 日曜・祝日・年末年始

アクセス 松尾前バス停から
徒歩3分(盛岡駅から約2.6km)

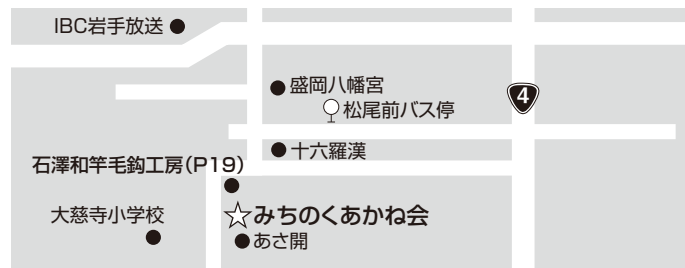


■お問い合わせ

〒020-0828 盛岡市大慈寺町10-34 あさ開
TEL・FAX.019-622-2648

URL <http://www.michinoku-akanekai.com>

E-mail homespun_akanekai@ec3.technowave.ne.jp



3

五葉社

【郷土玩具】

こけしの歴史と発祥をパネルで紹介しているほか、館内には、郷土玩具をはじめ藩政時代から伝わる伝統こけしや南部系キナキナ坊、安保こけし、盛岡ぼっこ、盛岡の地を題材に作られ伝えられてきた創作こけしなどが展示してあります。

大正15年創業の五葉社の「五葉」とは、『一華五葉開き結果自然に成ず』からの由来です。東北の400工人の伝統こけしも展示しています。



製作体験 要予約 / 5~20人 / 30~60分 / 1,600円(税込) / こけし描彩、こま、チャグチャグ馬コ飾り付け等

館長 田山 和文

開館時間 9:00~16:00

休館日 年末年始、不定休(お問い合わせ下さい)

アクセス 盛岡駅から約1.6km 徒歩20分
(館坂橋バス停 徒歩5分)

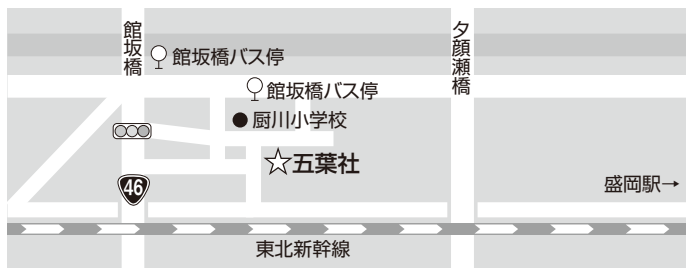


■お問い合わせ

〒020-0031 盛岡市北夕顔瀬町9-24
TEL・FAX.019-646-9439

URL <http://www.goyosha.com/>

E-mail info@goyosha.com



4

うるみ工芸

【浄法寺塗・秀衡塗】

漆の樹液をためる漆桶やホコリを払う羽根、加飾に使用する道具、漆を塗る刷毛などの漆器を製造するための道具や、急須台の作業工程を展示しています。



この道60年余の主人は、「現代の名工」「国の卓越技能章」を受章。天然素材の漆器は手触り口当たりが良く、使って丈夫。本物の良さを味わうことができます。

製作体験 要予約 / 12人まで / 40~60分 / 1,870円(税込)~絵付け(汁椀・箸等)

館長 勝又 吉治

開館時間 10:00~17:00

休館日 年末年始

アクセス 中央通二丁目バス停前
(盛岡駅から約1km)

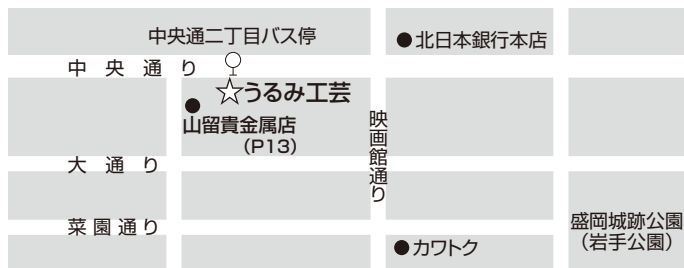


■お問い合わせ

〒020-0021 盛岡市中央通二丁目9-23
TEL.019-654-4615 FAX.019-654-4620

URL <http://www.urumi.jp/>

E-mail showroom@urumi.jp



5

ふじ わら よう ほう しょう 藤原養蜂場

はちみつ 【蜂蜜】

1901年創業。日本で最も古い養蜂場の一つです。店舗から歩いて10分ほどのところに、明治時代から使用している養蜂場があり、そこで実際にミツバチ

を観察しながら、養蜂の歴史やミツバチの生態などの説明を聞くことができます。ミツバチは蜜を集める過程で山野や農産物の花粉交配を担っており、人間にとって欠かせない生き物であることを学びながら、自然の大切さを知ることができます。藤原養蜂場は宮古街道沿いの溪流沿いや山間部でもミツバチを飼育しています。



略図 11ページを参照

体験見学 要予約 / 1~8人 / 60~90分

小学生以下500円(税込)、中学生以上1,000円(税込)(蜂蜜のお土産・試食付き)養蜂用の網ぼうしをかぶり蜂の生態を観察しながら説明を聞き、季節によっては巣箱から蜜を取り味見することもできます。(長袖シャツ・長ズボン・ズック着用、タオル持参)

※天候により巣箱を開けられない時があります。

館長 藤原 誠徳

開館時間 10:00~12:00 13:00~15:00

休館日 月曜日

アクセス 天満宮前バス停 徒歩3分

住吉神社集合後、新庄支場へ徒歩で移動

■お問い合わせ

〒020-0886 盛岡市若園町3-10(2023年4月下旬まで)

〒020-0807 盛岡市加賀野2丁目8-32(2023年4月下旬以降)

TEL.019-624-3001 FAX.019-624-3118

URL <https://www.fujiwara-yoho.co.jp/>



6

よし くに はき もの てん 吉國履物店

なんぶきりげた 【南部桐下駄】

南部桐下駄の製作に使用する道具や製作工程のパネルを展示しています。

桐は県の花で、岩手県は日本有数の桐の名産地として知られています。

昔から「南部の紫桐」と呼ばれ、うっすらと紫がかった木肌の美しさが好まれています。盛岡で唯一の下駄職人が作る目が細かくて軽く足触りの良い南部桐下駄を通じて盛岡の風土を感じることができます。



館長 吉田 國太郎

開館時間 9:30~12:00

休館日 日曜・年末年始

アクセス みどりがおか
緑が丘二丁目バス停 徒歩5分
(盛岡駅から約4km)

■お問い合わせ

〒020-0117 盛岡市緑が丘一丁目14-22

TEL・FAX.019-662-6215

URL —

E-mail —



7

立花製靴店

【製靴】

靴を作るための道具や製作工程をパネルで展示しているほか、館内では製作工程や半製品を見学することができます。

戦前から一貫して靴を作り続け、製甲と底付の両方をこなせる盛岡で唯一の職人のお店です。お客様の足に合わせて作る靴には、主人の靴へのこだわりと、確かな技術への自信が感じられます。



館長 立花 靖隆

開館時間 9:00~19:00

休館日 日曜

アクセス 夕顔瀬橋バス停 徒歩1分
(盛岡駅から約1km)

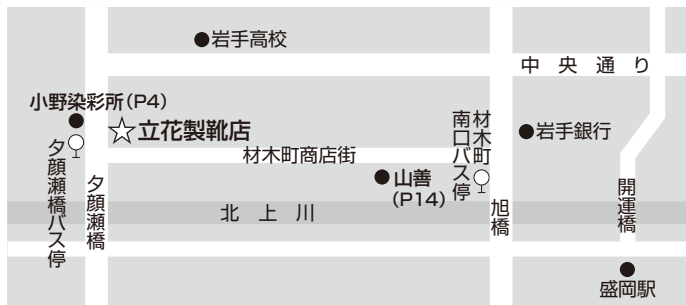


■お問い合わせ

〒020-0063 盛岡市材木町9-11
TEL.019-622-6692

URL —

E-mail —



8

関口屋菓子舗

【盛岡駄菓子】

盛岡駄菓子や店舗の歴史、製造工程などを紹介しています。

寒い風土の保存食としてつくられたのが駄菓子の始まりです。その草分け、明治26年創業の老舗で、現在は、四代目が暖簾を受け継いでおり、添加物は使わず、菓子だねと糖蜜を吟味し、すべて自然のもので本物の手づくりの味わいを大切に作りつづけています。味噌パン、たんきり、石衣、焼酎糖など、素朴な味は人気が高く、駄菓子を通じて盛岡の歴史や文化を感じ取ることができます。



館長 関口 等

開館時間 8:30~17:00

休館日 日曜

アクセス 総合福祉センター入口
バス停徒歩2分
盛岡市役所から徒歩5分(盛岡駅から約2km)

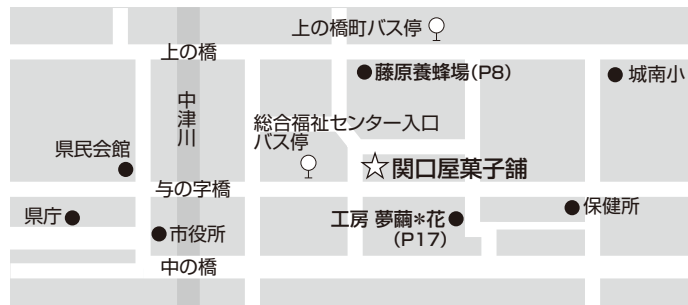


■お問い合わせ

〒020-0884 盛岡市神明町2-3
TEL・FAX.019-622-4509

URL <https://www.sekiguchiyakashiho.info>

E-mail —



9

まつ もと しん げん がっ き ごう ぼう
松本伸弦楽器工房

【ヴァイオリン製作】

ヴァイオリンの製作工程を写真で紹介しています。工房内では、ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・装飾楽器やバロック仕様の弦楽器の製作過程や半製品を見学できます。



ヴァイオリン製作者は、東北・北海道でも数人だけ。演奏する人に合った材料選びから採寸まで、一つ一つにこだわった設計や製作をしています。

見学 要予約 / 1~4人

館長 松本 伸

開館時間 10:00~17:00

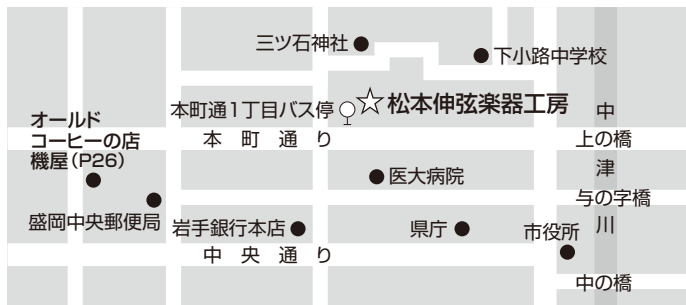
休館日 日曜・祝日

アクセス 盛岡都心循環バス
「でんでんむし」(右回り)
本町通一丁目バス停 徒歩1分
(盛岡駅から約10分)



■お問い合わせ

〒020-0015 盛岡市本町通一丁目16-1 カメラのキヤ2階
TEL・FAX.019-651-8862 (office)

URL <http://www.m-stringshop.com>E-mail info@m-stringshop.com

10

やま だめ ぎ きん そく てん
山留貴金属店

彫金

指輪やペンダントなどの製作工程(なまし・ろう付け・すかし等)をパネルで紹介しています。工房内では、製造過程や半製品を見学できます。



お客様のデザインを基に製作したり、指輪の宝石を活用しペンダントなどに作り直すなど、高い技術を用いた手作りの製作に、多くの愛好者から支持を受けています。

館長 山崎 栄太郎

開館時間 10:00~19:00

休館日 毎週日曜

アクセス 中央通二丁目バス停
徒歩1分
(盛岡駅から約1km)

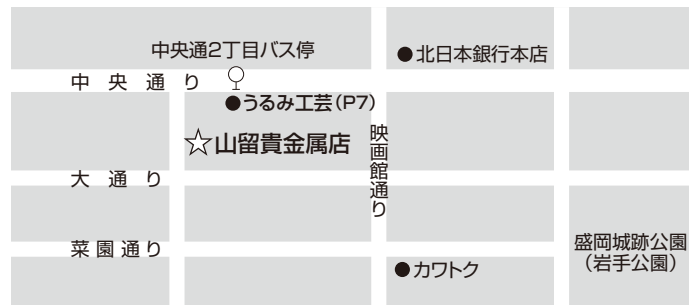


■お問い合わせ

〒020-0021 盛岡市中央通二丁目9-16
TEL・FAX.019-622-9305 (事前連絡を要す)

URL —

E-mail —



11 御菓子司 山 善

【和菓子】

工芸菓子の製作工程（生地から型抜き、仕上げまで）をパネルで紹介しております。店内には、御菓子で作られた花や木、鳥などの工芸菓子を

30点ほど展示しており、第23回全国菓子大博覧会で全菓博工芸大賞を受賞した『南部花車』は壮観です。

素材を吟味した確かな仕事に、四季折々の季節を感じさせる和菓子の魅力を十分に堪能することができます。



館長 井上 薫

開館時間 9:00~18:00

休館日 1月1日

アクセス さいもくちよう 材木町南口バス停

徒歩1分
(盛岡駅から約0.6km 徒歩7分)



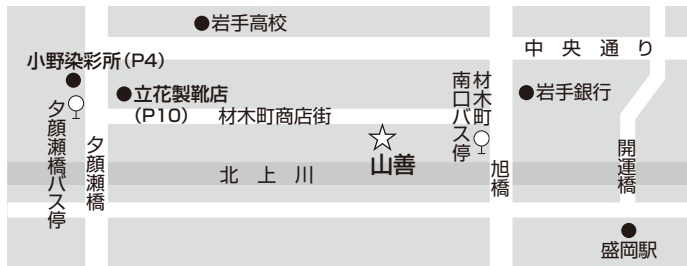
■お問い合わせ

〒020-0063 盛岡市材木町2-21

TEL.019-622-2618 FAX.019-622-2653

URL <https://okashi-yamazen.com>

E-mail info@okashi-yamazen.com



12 巴 染 工

【染物】

紺屋町(染物屋の町)で明治42年創業し、現在5代目が受け継いでいます。本社の紺屋町の店舗は、手ぬぐい・前掛け・半天・ハンカチ・ストール・

キャップなど自社の染物に関するショップ&ギャラリーです。商品販売と昔使用した染物の道具なども展示しています。染物のワークショップも出来て、工場見学も可能です。また、昨年オープンした南大通BASEも見学が可能です。

明治時代からの古き伝統の技と最新のデジタル染色を感じるすることができます。



館長 東條 誠

開館時間 9:00~17:00

休館日 日曜・祝日(土曜日隔週)

アクセス さいもくちよう 紺屋町バス停 徒歩1分
盛岡市役所から徒歩5分
(盛岡駅から約2km)



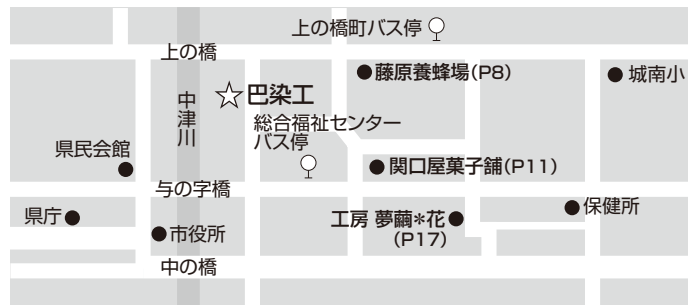
■お問い合わせ

〒020-0885 岩手県盛岡市紺屋町5-32

TEL.019-622-5334

URL <http://www.tomoemax.co.jp>

E-mail info@tomoemax.co.jp



13 ガラス工房 glass k

【吹きガラス】

吹きガラスの製作工程をパネルで紹介しているほか、道具や原料等を展示しています。工房内では、器や花瓶を制作している様子を見学することができます。



吹きガラスの器を作ったり、バーナーワークでトンボ玉を作る製作体験をすることができます。

製作体験 要予約 / 1~10人 / 約25分(1人)
 吹きガラス(花瓶やコップの制作)
 バーナーワーク(とんぼ玉の制作)
 ※金額はお問い合わせください。

館長 八木澤 啓

開館時間 9:00~16:00

休館日 不定休(お問い合わせ下さい)

アクセス 盛岡駅から約7.5km
 タクシー約20分
 (上米内駅から約1.6km)



■お問い合わせ
 〒020-0001 盛岡市上米内字大誘3-19
 TEL.019-661-6734

URL —

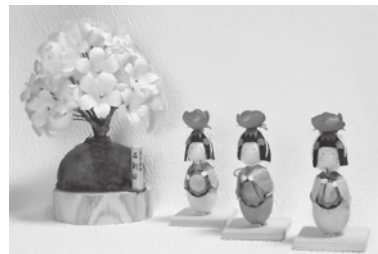
E-mail —



14 工房 夢蘭*花

【まゆクラフト】

まゆだまを美しくせんしよく染色して四季折々の作品を作るまゆクラフトを紹介しています。岩手の養蚕の資料をパネルで展示すると共に、ブーケ、リース、ひな人形、岩手のキャラクターわんこきょうだいなど、まゆの特性を生かした作品や、新開発商品「繭と漆のジュエリー」のアクセサリー等を見学することができます。



製作体験では、簡単にまゆクラフトの楽しさを味わっていただくことができます。

製作体験 要予約 / 1~10人 / 約30分
 材料費1,000円+税 / 石割桜、フクロウ、カエル、羊等、各種体験メニューよりお選び下さい。

館長 江見 夏恵

開館時間 10:00~17:00

休館日 月曜・不定休(お問い合わせ下さい)

アクセス 盛岡バスセンターから徒歩3分
 (盛岡駅から約2.2km)

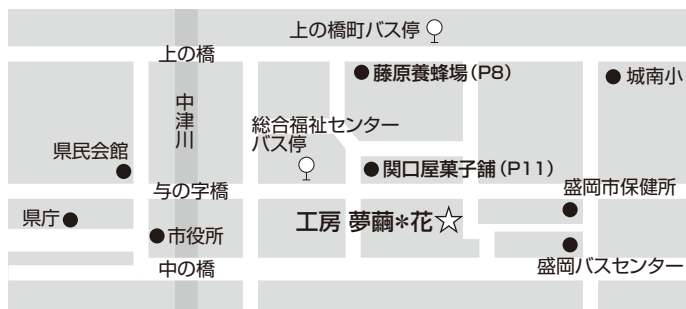
■お問い合わせ
 〒020-0884 盛岡市神明町1-24
 TEL・FAX.019-623-6509



URL <http://www.yumemayuka.com/>

E-mail emi@yumemayuka.com

facebook 「工房 夢蘭*花 繭クラフト」情報発信中



15 ベアレン醸造所

【地ビール】

1900年頃に造られたモルトミル(麦芽粉碎機)をはじめ、100年ほど前から使われているドイツの小さな醸造所からそのまま移設した仕込み室、



現在は使われていない貴重な醸造設備、ビールの原料を説明付きで展示しています。

ベアレン醸造所では、本場ヨーロッパの伝統的な醸造技術を尊重し、クラシカルなビール造りに取り組んでおり、その醸造工程を分かりやすいパネルで展示しご案内しています。

売店では、工場見学ツアー(要予約)もご用意しており、樽生のフレッシュなビールを飲む事ができます。瓶ビールや缶ビール・各種グッズも販売しています。

館長 鳶田 洋一

開館時間 9:30~17:30

休館日 年末年始

アクセス 北山バス停から徒歩5分
(盛岡駅から約2.5km)



■お問い合わせ

〒020-0061 盛岡市北山一丁目3-31

<https://pro.form-mailer.jp/fms/8009d63354512>

URL <https://www.baerenbier.co.jp/>

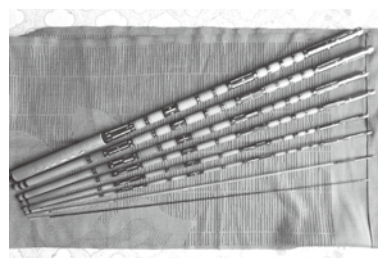
E-mail info@baeren.jp



16 石澤和竿毛鉤工房

【和竿・毛鉤】

工房内では、製作工程や半製品を見学することができます。東北では海の庄内竿とともに川の盛岡竿として名竿の双へきをなし知る人ぞ知る和竿



(竹製)の名竿。カーボン製が主流の中、盛岡地方独特の軽くて反発力のある地竿は、「自然の持つしなやかさがあり、一度手にしたら離せない」といわれ魚信の手ごたえも充分。1本仕舞の芸術品としても全国から注目されています。

石澤工房では樺や螺鈿、梨子地塗などで意匠も凝らし、実用と美を兼ね備えた伝統の名竿を今も製作し、和竿復活の声を高めています。

製作体験 和竿製作教室

館長 石澤 弘

開館時間 9:00~16:00

休館日 不定休(お問い合わせ下さい)

アクセス 松尾前バス停 徒歩2分
(盛岡駅から約3km)



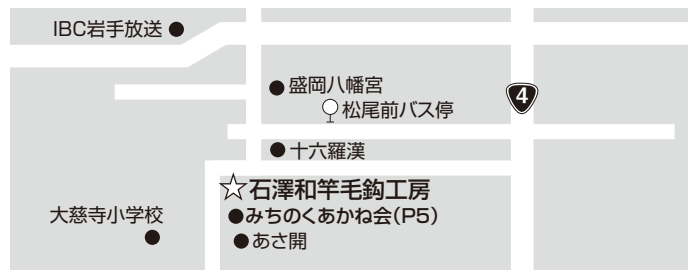
■お問い合わせ

〒020-0828 盛岡市大慈寺町10-39

TEL.019-623-8876

URL <https://morioka-sao.com>

E-mail —

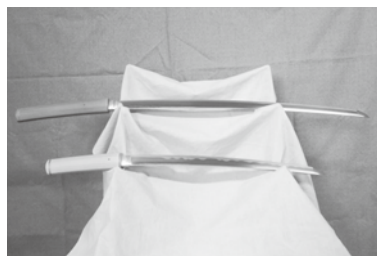


17

刀剣徹斎

【刀剣研磨】

工房では、刀剣の研磨の工程をパネルで紹介しているほか作業を見学することができます。また、希望により刀剣の取り扱い方や鑑賞等の基礎



を教えてもらう講座を受けることができます。

研師の世界では、1000年以上の歴史を経た現在でも、刀剣の研磨に使う道具には大きな変化はありません。礼に始まり礼に終わる。祖父の代から刀剣研磨を生業とする刀剣徹斎では、現在では稀少とも言える刀剣専門の研師の技と心に触れその魅力に魅了されます。

見学 要予約/1~6人

館長 阿部 義貞

開館時間 10:00~17:00

休館日 不定休(お問い合わせ下さい)

アクセス 岩手飯岡駅から約1.2km
徒歩15分
(盛岡駅→岩手飯岡駅5.7km 7分)



■お問い合わせ

〒020-0833 盛岡市西見前19-2-4
TEL・FAX.019-638-8808

URL —

E-mail —



18

アトリエ北の花籠

【プリザーブドフラワー】

アトリエにはプリザーブドフラワー加工工程などプリザーブドフラワー関係の展示がされており。また、アトリエで制作したドライフラワー・プリザーブドフラワーなどのリースやハーバリウムの体験もできます。



製作体験

要予約/1~20人/約1時間
さんさ踊り髪かざり、ハーバリウム、リース、キャンドル:材料費(税込)各2,200円~
※制作の様子をブログにアップしております。ホームページからブログもご覧下さい。

館長 工藤 奈緒美

開館時間 10:30~16:00

休館日 年中無休

アクセス 緑が丘三丁目バス停前
(アネックスカワトク内)
(盛岡駅から約4.3km)



■お問い合わせ

〒020-0117 盛岡市緑が丘4-1-50
TEL.090-3129-3801 FAX.019-663-1687

URL <http://www.kitanohanakago.com>

E-mail info@kitanohanakago.com



19 岩手革

【いわて短角牛レザー】

岩手で育った短角牛を使用したレザーアイテムをみなさまにお届けしております。

当工房では、時期によって製作過程の見学や体験等ができます。お気軽にお問合せください。



製作体験 時期によって承っております。お問い合わせください。

館長 佐々木 菜美

開館時間 11:00~17:00

休館日 不定休

アクセス 山岸小学校前バス停 徒歩10分



■お問い合わせ
〒020-0005 盛岡市紅葉が丘36-21
TEL.019-613-5130

URL <http://www.iwategawa.jp/>

facebook <https://www.facebook.com/iwatetankakugyu/>



20 鈴木盛久工房

【南部鉄器】

寛永2年(1625)南部家の御用鋳物師として召抱えられた鈴木家は約400年の歴史を誇ります。

13代盛久は国の無形文化財(人間国宝)の指定を受け、15代盛久(熊谷志衣子)は伝統の中に現代的な感覚を取り入れ、鉄のもつぬくもりを表現しています。

工房内では、常時作品が展示・販売されています。



日の丸形鉄瓶

館長 鈴木 成朗
(16代 鈴木盛久)

開館時間 9:00~17:00(平日)
9:00~16:00(土曜)

休館日 日曜

アクセス 盛岡市役所から徒歩6分
(盛岡駅から約2km)



■お問い合わせ
〒020-0874 盛岡市南大通一丁目6-7
TEL.019-622-3809 FAX.019-656-1151

URL <http://www.suzukimorihisa.com/>

E-mail info@suzukimorihisa.com



21 創作ジュエリー工房 SILVER ART☆KAORI

【創作銀細工】

「日本女性の美しさ」を永遠のテーマに、デザインから完成まで一貫制作する銀ジュエリーのオートクチュールを生み出す工房です。

難しいとされてきた地金と銀粘土の接合技術を編み出し、現在、特許を取得したこの独自の技法により受賞多数。著作の技術書も2冊出版されています。伝統工芸やハイテク素材など様々な技法の創作ジュエリーを製作する工房です。

工房では、道具や半製品の見学、作家の Passion を感じられるDVDやパネルでの製品工程や受賞作品を見学できます。教室では、彫金、ロストワックス、アートクレイシルバーなど様々な技術クラスがありますが、銀ジュエリー制作体験ができます。また、湯気が出る様な生まれたての創作銀ジュエリーを、工房直売の「銀の産直」で購入可能です。950円のお土産～オートクチュールジュエリーまで。

製作体験

要予約 / 2～10人
銀の刻印体験(約50分弱)3,500円(税込、銀材料費込)
ジュエリー制作体験(リング・ペンダント等):(約2時間半)
9,000円(税込、別途材料費1,500円～)

館長

千葉 香

開館時間

12:00～19:00

休館日

不定休(お問い合わせ下さい)

アクセス

プラザおでって隣(盛岡駅から約2km)

■お問い合わせ

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目1-21 ホテルブライイトイン盛岡2階
TEL・FAX.019-652-5725

URL <http://silverartkaori.com>



E-mail ck@silverartkaori.com



22 木炭博物館

【木炭・薪・木酢液】

世界に誇る日本の木炭産業は近年、業務用燃料として見直されるとともに、土壌改良、水環境や汚染土壌の浄化、住宅の床下湿度調整用など、燃料以外での用途が注目されています。岩手木炭は、わが国の木炭生産量の4分の1を占めており、生産量日本一を誇る木炭のトップブランドです。

「木炭博物館」は木炭の製造工程を見学できます。また、世界の木炭の展示や副産物である木酢液の紹介を行っており、木炭の歴史や木炭製造の全般を学ぶことができます。



やる気の炭窯

館長

千葉 正

開館時間

10:00～17:00

休館日

不定休

アクセス

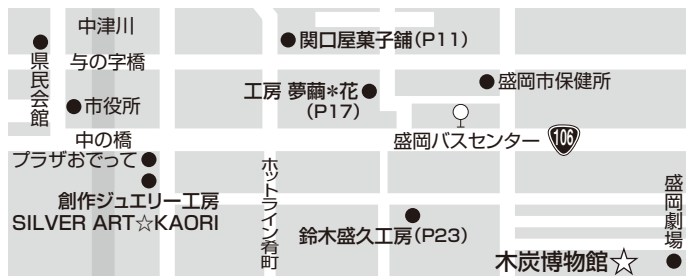
盛岡市役所から
約1km

■お問い合わせ

〒020-0874 盛岡市南大通一丁目12-16
TEL.080-6004-1001

URL —

E-mail —



23 オールドコーヒーの店 機屋 はた や

【焙煎珈琲】 ばいせんコーヒー

1985年 かんせい 閑静な住宅街の中に、両親のはじめた古布店の附属喫茶室としてOPENしました。

1994年に自家焙煎珈琲の店としてリニューアルし、少しずつ形を変え現在に至っています。

創業当時から、本当に美味しい珈琲を作り提供したいという姿勢はずっと変わっていません。珈琲の焙煎機や抽出器具を見学しながら、説明を聞くことができます。また、不定期に珈琲座談会(要予約/有料)を開催しています。



館長 関 基尋

開館時間 11:00~19:00

休館日 毎週月曜 第1火曜

アクセス ちゅうおうどおり 中央通二丁目バス停
徒歩5分(盛岡駅から約1km)

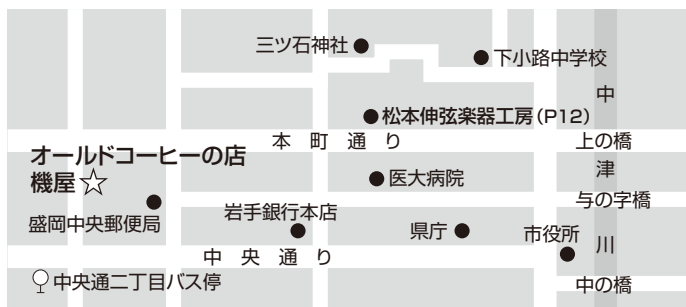


■お問い合わせ

ほんちようどおり
〒020-0015 盛岡市本町通三丁目2-11
TEL.019-653-8833 FAX.019-601-2316

URL <http://hatayacoffee.com/>

E-mail cafe@hatayacoffee.com



24 螺鈿 澤井工房 ら でん さわ い こう ぼう

【螺鈿細工】 らでんざいく

螺鈿とはアワビ貝や夜光貝 やこうがい を、漆地や木地にのせて研ぎ出す漆工芸の技法です。当工房では、岩手県浄法寺産の漆と三陸産アワビ貝等を使用した螺鈿の製作をしています。



全国的にも珍しい螺鈿のアクセサリーは、元かんざし職人の技術を生かした手作業に拘りを持ち、主に黒檀を使った土台作りから完成まで、一貫して当工房で製作しています。店内では、コンクールや審査会で高い評価を得た受賞作の展示もあります。自然の育んだ美しい貝や漆と、職人の高い技術が織り成す螺鈿の数々を、是非ご覧ください。

製作体験 お問い合わせください。

館長 澤井 正道

開館時間 10:00~17:00

休館日 不定休(お問い合わせください)

アクセス 盛岡駅より車で約20分
東県宮アパート前バス停 徒歩5分



■お問い合わせ

〒020-0106 盛岡市東松園二丁目1-4
TEL.019-601-8646 FAX.019-601-6210

URL <http://sawaikoubou.com>

E-mail s381@coffee.ocn.ne.jp



【馬事文化】

盛岡周辺はかつて馬産地として有名でした。当博物館では馬事文化を伝承するため、伝承保存品等史料を常設展示しています。また、新馬町の歴史や馬の売買が行われていた馬検場の歴史を装束品や馬像・カラー写真等を用いて展示しています。



館長 千葉 正

開館時間 10:00~17:00

休館日 不定休

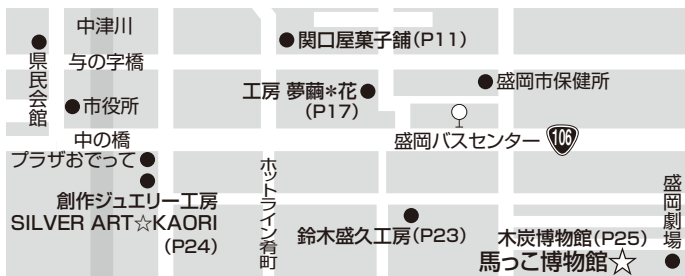
アクセス 盛岡市役所から
約1km

■お問い合わせ

〒020-0874 盛岡市南大通一丁目12-16
TEL.080-6004-1001

URL —

E-mail —



【暮らしと伝統の物語 もりおか】

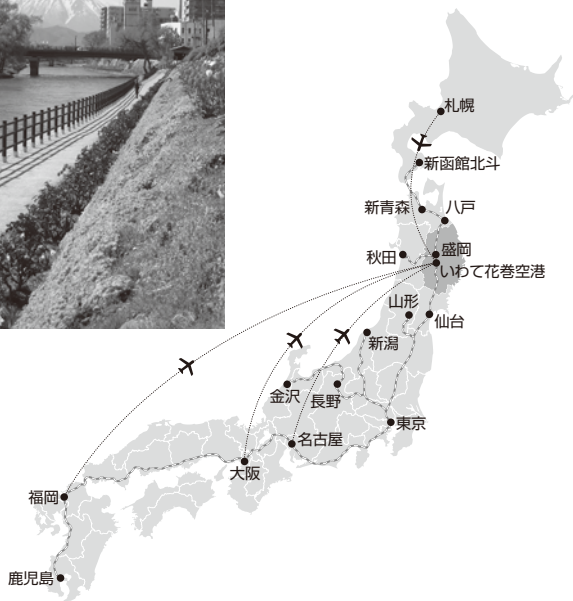
2008年4月中核市へ移行した盛岡市、そのまちづくりは、今からおよそ400年前の慶長年間、南部家26代信直公が北上川と中津川が合流し丘陵に囲まれた不來方の地に築城したことから始まりました。

盛岡藩二十万石の歴史が息づく盛岡は、二重の外堀が巡る城を商家や職人町が囲み、さらに外側に侍屋敷などを配置した造りで、その城下町の情緒と風格は今も「盛岡らしさ」として残っています。

盛岡藩の庇護のもと、代々受け継がれた伝統の技術と、手仕事の温かさが伝わる盛岡の特産品は、変わることはない美しさと懐かしさをもっています。



◎人口/285,946人
(市推計人口 R4.11.1)
◎面積/886.47平方km



《アクセス》

- 東北新幹線・秋田新幹線(最短)

東 京	盛 岡	岡 : 2時間10分
青 森	盛 岡	岡 : 47分
秋 田	盛 岡	岡 : 1時間23分
札 幌	花 巻	巻 : 1時間
名 古 屋	花 巻	巻 : 1時間10分
大 阪	花 巻	巻 : 1時間20分
大 神 戸	花 巻	巻 : 1時間30分
福 岡	花 巻	巻 : 2時間

 花巻空港～盛岡(空港連絡バス)50分
- 東北自動車道

青 森	盛 岡	岡 : 約167km
秋田中央	盛 岡	岡 : 約164km
仙台宮城	盛 岡	岡 : 約180km

【盛岡特産品販売店】

気になる盛岡の特産品は市内、全国各地で絶賛販売中です。

《市内》

こだわり岩手の「味」と「技」が一堂に揃った物産館

特産品プラザ ららいわて

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸16-1 岩手県水産会館1F

TEL 019-654-1843

<https://www.iwatekensan.co.jp/shop/lala/>

■営業時間／10:00～18:00 (1/4～2/末は10:30～18:30)

■定休日／毎月第2、第4日曜日(6月～8月、11月～12月を除く)

■駐車場／有

見て、触れて、体験できる盛岡の特産品を集めた施設

盛岡手づくり村 (公財)盛岡地域地場産業振興センター

〒020-0055 岩手県盛岡市繫字尾入野64-102

TEL019-689-2201

<https://tezukurimura.com/>

■営業時間／8:40～17:00(1/2～3は10:00～16:30)

■定休日／12/29～1/1 ■駐車場／有

オンラインショップ

<https://www.rakuten.co.jp/morioka/>

《県外》

全国にいわての魅力を発信中

いわて銀河プラザ

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目15-1 南海東京ビル1F

TEL 03-3524-8282

<https://www.iwate-ginpla.net/>

青森・岩手ええもんショップ

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島一丁目 堂島地下街6号(ドージマ地下センター)

TEL 06-6346-0888

<https://www.eemonshop.jp>

みちのく夢プラザ

〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目7番148号

TEL 092-736-1122

<https://www.iwatekensan.co.jp/shop/myp/>



盛岡市は、平成18年に「盛岡ブランド宣言」を行い、盛岡の暮らしの中から生まれた価値や魅力を「盛岡ブランド」として市の内外に発信しています。



もりおか味と工芸展実行委員会

〒020-8531

盛岡市若園町2-18 盛岡市商工労働部ものづくり推進課内

TEL 019-626-7538

FAX 019-626-4153

E-mail : monozukuri@city.morioka.iwate.jp